

津山工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	国語Ⅲ
科目基礎情報				
科目番号	0001	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	教科書:『高等学校 国語総合』『高等学校 古典B』(明治書院),『新訂総合国語便覧』(第一学習社),『テスト式国語常識の総演習』(京都書房), 配付プリント, 参考書:『国語辞典』『古語辞典』『漢和辞典』(どの出版社のものでも良い)			
担当教員	江原 由美子			
到達目標				
<p>学習目的: 現代の様々な文章の読解を通して,考える力を高める。 日本語に関する常識的な知識を身につける。 古典文学を学び,感性を磨くと共に,日本文化への造詣を深める。</p> <p>到達目標 1. 現代の様々な文章を読み,論理的かつ多角的な理解力,柔軟な発想や思考力を高める。 2. 日本語についての知識を増やし,適切に運用できる能力を育む。 3. 代表的な古文・漢文を読み,現代の日本語・日本文学とのつながりを知ると共に,日本文化への理解を深める。 ◎効果的な説明方法や手段を用いて,コミュニケーションを図れる。</p>				
ルーブリック				
	優	良	可	不可
評価項目1	現代の様々な文章を読み,論理的かつ多角的に内容を理解することができる。また,文章の内容や筆者の主張に対し,自身の言葉で考えを述べることができる。	現代の様々な文章を読み,論理的かつ多角的な内容を理解に努めることができる。また,文章の内容や筆者の主張に対し,自身の考えを述べることができる。	現代の様々な文章を読み,内容を理解することができる。また,文章の内容や筆者の主張に対し,自身の考えを持つことができる。	現代の様々な文章について,内容を理解しようとしていない。また,文章の内容や筆者の主張について,自身で考えようとしていない。
評価項目2	自発的に日本語に関する知識を増やし,それを適切に運用することができる。	日本語に関する知識を増やし,それを活用することができる。	日本語に関する知識を増やし,それを活用する努力をすることができる。	日本語に関する知識を増やそうとせず,日本語力を向上させる気持ちはない。
評価項目3	代表的な古典文学作品を読み,その内容を味わうと共に,日本文化への造詣を深めることができる。	代表的な古典文学作品を読み,その内容を味わうと共に,日本文化への理解を深めることができる。	代表的な古典文学作品を読み,その内容を味わうと共に,日本文化への理解を深めようと努力することができる。	古典文学作品を読もうとしていない。また,古典文学作品の内容を知ろうとしていない。
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	<p>一般・専門の別:一般 学習の分野:国語</p> <p>必修・履修・履修選択・選択の別:必修</p> <p>基礎となる学問分野:人文学/文学・言語学</p> <p>学科学習目標との関連:本科目は一般科目学習目標「(3)生きるための活力と,その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連:本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F)コミュニケーション能力,プレゼンテーション能力の育成」であるが,付随的には,日本文化への理解の深化が,「(B)地球的視野に立った人間性の育成」にも関与する。</p> <p>授業の概要:教科書や国語便覧,プリント等を使用し,現代文,古文,漢文,日本語表現の授業を行う。国語常識の小テストを毎週行う。</p>			
授業の進め方・方法	<p>授業の方法: ・教科書や国語便覧,プリント等を用いて,現代文,古文,漢文,日本語表現の授業を行う。前期は現代文と古文,後期は漢文と日本語表現の授業を行う。 ・毎週,国語常識の小テストを行う。 ・適宜,課題提出物を課す。</p> <p>成績評価方法: ・成績は,定期試験(60%) + 国語常識の小テスト(20%) + 課題提出物(20%)の合計から評価する。 ・定期試験は計4回実施し,その評価割合は同等とする。各試験における,現代文と古文,漢文と日本語表現の配点は,その都度指示する。再試験は原則として実施しない。 ・国語常識の小テストは毎週行い,その平均点を成績に算入する。再テストは原則として行わない。 ・課題提出物は,授業時や長期休暇中に課す。詳細はその都度指示する。</p>			
注意点	<p>履修上の注意:本科目は,3学年の課程修了のために履修(欠席時間数が所定授業時間数の3分の1以下)が必須の科目である。</p> <p>履修のアドバイス:次回の授業に向け,作品に目を通すと共に,音読練習を行い,読めない箇所がないか確認すること。毎週,国語常識の小テストを行うので,必ず勉強して受験すること。授業に積極的に参加すると共に,平日頃から自身の日本語に関する知識を増やす努力をすること。</p> <p>基礎科目:国語Ⅰ(1年),国語Ⅱ(2) 関連科目:国語Ⅳ(4年),科学技術作文(4),人間と文学(4)</p> <p>受講上のアドバイス: ・授業開始時刻に遅れた場合,20分までは遅刻,それ以降は欠課として扱う。 ・欠課する(した)場合は,欠課届あるいは公認欠課届を提出すること。国語常識の小テストは,欠課の届け出がなかった場合,当該のテストが0点となる。 ・課題提出物は,期日を守って提出すること。 ・日頃から様々な文章に触れ,考える力や表現力の向上に努めること。 ・授業中に辞書を引く場合,携帯電話やスマートフォンの辞書を使用することは認めない。</p>			
授業計画				

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	
		2週	[現代文] 随想	
		3週	[現代文] 随想	
		4週	[古文] 日記	
		5週	[古文] 日記	
		6週	[現代文] 小説	
		7週	[現代文] 小説	
		8週	前期中間試験	
	2ndQ	9週	前期中間試験の答案返却と解説	
		10週	[古文] 物語	
		11週	[古文] 物語	
		12週	[古文] 物語	
		13週	[現代文] 評論	
		14週	[現代文] 評論	
		15週	(前期末試験)	
		16週	前期末試験の答案返却と解説	
後期	3rdQ	1週	[漢文] 史伝	
		2週	[漢文] 史伝	
		3週	[漢文] 史伝	
		4週	[漢文] 史伝	
		5週	[日本語表現] 文章作法	
		6週	[日本語表現] 文法 1	
		7週	[日本語表現] 文法 2	
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	後期中間試験の答案返却と解説	
		10週	[漢文] 中国の思想	
		11週	[漢文] 中国の思想	
		12週	[日本語表現] 文章構成の基礎	
		13週	[日本語表現] 文章作成演習 1	
		14週	[日本語表現] 文章作成演習 2	
		15週	(学年末試験)	
		16週	学年末試験の答案返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	60	0	0	0	20	20	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0